

の	か	な			契	頃	後	れ	に			た	林			が	結	を	
ア	み	が	最		約	、	9:28	ば	見	複		。	農	部		打	露	傾	タ
ル	を	ら	上		書	佐	を	大	え	数			産	屋		ち	し	け	ク
コ	刺	ナ	階		一	藤	も	し	る	の			と	に		付	た	た	シ
ー	激	ッ	の		式	、	っ	た	が	契			の	入		け	ホ	か	ー
ル	し	ッ	ラ		が	村	て	負	、	約			調	り		る	テ	の	が
を	、	を	ウ		入	松	す	荷	関	書			整	、		。	ル	よ	ホ
提	ジ	齧	ン		っ	両	べ	で	係	の			が	本			の	う	テ
供	ン	っ	ジ		て	氏	て	は	者	連			終	社			ガ	な	ル
す	ト	て	で		い	の	の	な	全	鎖			わ	に			ラ	土	に
る	ニ	い	ジ		こ	メ	調	い	員	的			る	報			ス	砂	到
。	ッ	る	ン		と	ー	整	事	が	な			と	告			を	降	着
	ク	。	ト		だ	ル	は	実	す	変			、	を			洗	り	す
	は	ナ	ニ		ろ	ボ	完	、	ば	更			夜	上			う	と	る
	糖	ッ	ッ		う	ッ	了	現	や	は			に	げ			よ	な	頃
	分	ッ	ク			ク	し	在	く	一			入	、			う	っ	に
	と	は	を			ス	た	、	対	見			っ	、			に	た	は
	少	こ	飲			に	。	午	応	派			て	小			雨	。	、
	量	め	み			は	今		す	手			い				滴	逆	盆

タ	閉	ン	芸	動	ニ			る	掛		ず	な		い	私	す	案		の		
ッ	じ	の	能	翻	ュ			。	け	何	っ	の		て	が	べ	件	各	仕	私	
チ	よ	広	人	訳	ー				が	か	と	に		い	す	て	は	々	事	の	
す	う	告	の	を	ス				口	、	嫌	、		く	べ	が	無	が	も	仕	
る	と	、	不	オ	サ				を	こ	な	な		だ	き	う	事	な	、	事	
	し	ブ	倫	ン	イ				開	の	予	ぜ		け	す	ま	完	す	す	も	
	て	ロ	、	に	ト				い	平	感	だ		だ	べ	く	了	べ	べ	、	
	視	ガ	熱	し	を				て	坦	が			。	て	行	し	き	て	小	
	界	ー	中	、	開				い	な	し				の	未	、	こ	よ	野	
	の	の	症	ス	く				る	道	て				こ	来	私	と	く	寺	
	端	コ	の	ク	。				よ	の	い				と	が	は	を	定	ら	
	に	ラ	警	ロ	地				う	ど	る				は	た	実	な	義	の	
	映	ム	戒	ー	域				な	こ	。				、	だ	績	す	さ	仕	
	っ	・	、	ル	..				予	か					た	そ	を	こ	れ	事	
	た	・	脱	す	日				感	に					だ	こ	一	と	て	も	
	記		毛	る	本				が	、					そ	に	つ	で	い	、	
	事		サ	。	、				し	妙					こ	あ	増	、	る	小	
	を		ロ		自				て	な					に	り	や	こ	。	林	
									い	仕					歩	、	す	の		ら	

的	産	い	で					代	論	る	に	右	CEO	プ	研				
な	省	さ	す	「	議	ま		理	客	と	移	フ	が	の	究	論		徹	
機	が	さ	が	今	題	ず		モ	の	勝	動	リ	招	メ	科	客	底		
能	農	か	私	日	は	、		デ	ス	手	し	ッ	聘	ガ	長	に	討		
と	政	不	は	は	、	元		ル	キ	に	、	プ	さ	フ	、	は	論		
い	を	満	、	よ	「	官		が	ャ	議	論	す	れ	ァ	熊	元	..		
う	担	を	現	ろ	地	僚		勝	ニ	論	者	る	て	ーム	本	官	次		
も	っ	覚	在	し	方	〜		手	ン	が	を	と	い	ム、	農	僚	の		
の	て	え	の	く	の	名		に	グ	レ	決	、	た	、	専	が	世		
を	い	て	経	お	雇	に		議	を	ン	め	論	。	北	校	〜	代		
大	た	い	産	ね	用	議		論	も	ダ	て	者	そ	海	長	名	の		
事	頃	ま	省	が	維	論		を	と	リ	か	が	れ	農	、	、	農		
に	は	す	主	い	持	を		進	に	ン	ら	控	ぞ	業	国	京	業		
し	、	。	導	し	に	さ		め	再	グ	議	室	れ	サ	内	都	と		
て	農	昔	の	ま	つ	せ		て	構	さ	題	か	の	ー	シ	大	は		
い	業	、	農	す	い	る		く	成	れ	を	ら	写	ビ	ェ	学	？		
た	の	農	政	。	て	。		れ	さ	る	選	ひ	真	ス	ア	工			
よ	多	林	に	早	。			る	れ	。	択	な	を	の	ト	学			
う	面	水	は	速	」			。	た	各	す	壇			ッ				

と	ブ	た	イ	ま	メ	地	フ	フ	で	が	れ	い	ま	よ	と	る	た	も	に	
い	す	め	ン	た	ガ	面	ア	ア	出	撤	て	っ	し	う	の	の	か	、	思	
う	る	に	フ	、	フ	積	ー	ー	現	退	い	た	た	に	バ	で	ら	農	わ	
監	こ	、	ラ	自	ア	の	ム	ム	し	し	ま	都	が	思	ラ	は	、	業	れ	
獄	と	都	を	治	ー	97%	の	に	ま	、	し	市	、	わ	ン	な	単	と	ま	
に	す	市	メ	体	ム	を	耕	よ	し	人	た	と	農	れ	ス	く	に	い	す	
囚	ら	の	ガ	が	は	占	地	理	た	口	。農	農	泊	ま	と	、	能	う	よ	
わ	叶	市	フ	コ	エ	め	面	さ	。農	が	地	村	、	す	い	地	率	の	地	
れ	い	民	ア	ス	ン	る	積	れ	地	1000	が	の	グ	。ま	う	域	を	は	方	
て	ま	が	ー	ト	ク	ま	と	、	は	人	今	交	リ	た	も	の	上	地	方	
し	せ	農	ム	カ	ロ	で	合	中	75%	を	や	流	ン	、	の	雇	げ	方	の	
ま	ん	村	に	ッ	ー	に	わ	堅	が	切	、	に	ツ	今	を	用	る	の	雇	
っ	。市	を	売	ト	ジ	な	せ	∞	3	る	農	も	ー	、	大	、	合	重	用	
た	民	自	却	の	ャ	り	る	メ	都	都	村	予	リ	地	事	地	理	要	維	
の	は	由	さ	た	ー	ま	と	ガ	道	府	か	算	ズ	域	に	の	化	な	持	
で	、	に	せ	め	を	し	実		大	県	ら	が	ム	の	し	暮	を	産	に	
す	都	ド	ら	に	開	た	に		メ	ま	は	当	と	な	て	ら	進	業	つ	
。こ	市	ライ	れた	公	始	。面	全		ガ		人	て		り	た	し	め	で	い	
こ			た	共	し		耕					ら						し	て	

、

す。	また、	エンクロージャーと言	うのは不	は不可欠ですの	で、ご理解頂ければ幸いで	も限りがありますので、予算の選択と集中	はわずかに2%に過ぎません。我が国の税収に	から、農村へ居住してみたいと答えた国民	るつもりですよ。しかし、実際の調査結果	ると思いますし、我々は喜んでお手伝いす	ニーズがあればそういうビジネスが生まれ	果たしてニーズはあるのでしょ	うか。仮に	を下回る中で、都市農村間交流とい	っても、	また、現実として農村居住者が人口の1%	レトリックに過ぎません。	の補助金政策を墨守するための時代遅れの	まず、多面的機能というのは、WTOで自国	「ふむ、此方の見解はやや異なります。	他方は応じる。	すべきです。」	に、再び町が作られるよう積極的な支援を	も後押しし、地方に辛うじて点在する農村	れからは、地方に居住する自由を国として
----	-----	------------	------	---------	--------------	---------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------	-------	------------------	------	---------------------	--------------	---------------------	----------------------	--------------------	---------	---------	---------------------	---------------------	---------------------

題	病	海	を	ま	こ	用	ラ	収		態	を	旧	法	業	放	す	し	の	適	
を	気	道	拒	た	と	し	を	し	ま	で	経	弊	こ	を	棄	。	ま	よ	当	
起	を	で	む	、	を	て	、	た	た	し	な	に	そ	始	地	貴	し	う	で	
こ	持	は	こ	私	、	く	メ	ん	、	た	い	凝	が	め	は	方	し	な	す	
し	ち	都	の	有	何	だ	ガ	じ	公		と	り	エ	れ	い	だ	た	農	。	
ま	込	市	の	地	を	さ	フ	ゃ	共		農	固	ン	ば	く	っ	今	地	撤	
し	ん	の	何	の	偉	っ	ア	な	イ		地	ま	ク	よ	ら	て	は	法	回	
た	だ	市	が	中	そ	て	丨	い	ン		が	っ	ロ	い	で	、	、	を	し	
。	り	民	問	に	う	い	ム	。	フ		取	た	丨	の	も	農	誰	一	て	
こ	設	が	題	部	に	る	が	放	ラ		得	農	ジ	で	あ	村	で	旦	く	
れ	備	圃	な	外	言	の	私	棄	を		で	業	ャ	す	り	に	も	白	だ	
ら	を	場	の	者	っ	で	財	さ	メ		き	委	丨	。	ま	農	農	紙	さ	
は	破	に	で	が	て	す	を	れ	ガ		な	員	の	む	す	地	地	に	い	
、	壊	上	す	入	る	。	投	た	フ		不	会	た	し	か	が	を	戻	。	
農	す	が	か	っ	ん	感	じ	公	ア		自	の	め	ろ	ら	欲	取	し	我	
業	る	り	。	て	で	謝	て	共	丨		由	秘	の	、	買	し	得	、	々	
生	等	込	昔	く	す	す	有	イ	ム		な	密	法	旧	っ	け	で	簡	は	
産	の	ん	、	る	か	べ	効	ン	が		状	会	で	農	て	れ	き	素	迷	
の	問	で	北	の	。	き	活	フ	買			議	す	地	農	ば	ま	化	路	

。、

持	害	は	心	の		示	食	省	農	成	た	ケ	先	な	壁	の	料	め	収
続	あ	貴	は	事	他	し	料	は	産	し	り	ッ	端	っ	の	用	、	を	
可	っ	方	あ	実	に	し	自	、	物	ま	前	ト	技	た	撤	作	自	み	
能	て	た	り	を	も	し	給	旧	輸	し	の	の	術	こ	廃	物	給	て	
性	一	ち	ま	裏	、	ま	率	農	出	た	こ	調	を	ら	に	につ	率	も	
を	利	が	せ	付	貴	し	に	林	額	。我	と	査	駆	の	い	41%	、		
大	な	思	ん	け	方	ょ	つ	水	3	我	ば	ニ	使	政	を	も	米		
き	し	う	。	て	た	う	い	産	兆	々	か	1	し	策	達	可	930kg		
く	で	ほ	す	い	ち	。	で	省	円	が	り	ズ	た	に	成	能	、		
損	す	ど	べ	ます	が	我	す	で	、	や	で	に	そ	よ	し	限	麦		
な	い	農	て		言	が	よ		食	っ	し	応	の	、	ま	り	630kg		
う	い	業	の		わ	国	。	成	料	た	。	じ	実	米	し	無	、		
の	で	に	計		ない	農	農	し	自	こ	国	た	装	麦	。	人	大		
で	す	も	デ		い	産	産	得	給	と	内	生	、	、	また	化	豆		
あ	か	農	ー		デ	物	々	な	率	は	外	産	官	食	、	を	280kg		
り	、	村	タ		ー	輸	経	か	68%	、	の	計	民	用	飼	進	を		
百	市	も	が		を	出	済	っ	を	実	マ	画	一	大		反			
	民	関	そ		お	額	産	た	達	に	ー	と	と	障					

た	立	歩				て	な	な			な	貴		こ		は	我	や	達	
成	っ	み		京		残	な	っ	以		い	方		し		も	々	農	成	
果	た	を	「	都		り	、	た	降	「	で	の		た	「	う	と	政	し	
を	混	出	先	大		の	思	。 二	の	何	く	勝		の	そ	少	、	は	て	
し	乱	し	の	学		論	い	に	や	だ	だ	手		が	の	し	民	科	い	
続	も	し	再	の		者	、	よ	り	と	さい	な		農	あ	敬	間	学	ま	
け	な	て	編	の		の	疲	る	とり	り	い	価		村	ん	意	の	で	す	
て	く	二	に	教		見	れた	代	は	明	よ	値		へ	た	を	事	す	。 農	
い	、	年	より	授		解	ので	理	瞭	瞭	。	観		関	ら	払	業	農	業	
ま	学	が	旧	が		を	独	モ	に	に		を		心	の	っ	者	業	は	
す	術	経	農	語		聴	演	デル	聞			、		を	農	て	の	を	産	
・	界	過	学	る		く	会	も	き			国		持	村	いた	皆	成	業	
・	と	し	研				モ	ま	取			民		つ	への	だ	様	長	で	
・	産	ま	究				ー	だ	れ			に		べ	無	き	に	産	あ	
」	業	した	科				ド	未	なく			無		き	関	たい	、	業	り	
	界	が	が				に	熟				理		だ	心	い	貴	に	、	
	に	、	我				し	だ				強		い	を	。	方	した	農	
	優	目	々									い		か	引	」	たち	学		
	れ		と									し		。」	起					

[illegible]

と	の	日	また	の	12	オ	の	に	作	ha	ジ	て	ち	こ	行	北	弊	CEO		
は	北	々	た	後	年	リ	た	と	を	、	ル	お	、	し	っ	海	社	を	「	
浅	海	高	北	旧	前	テ	め	っ	し	海	、	り	ま	の	て	道	は	務	ど	
か	道	度	海	道	に	ィ	の	て	て	外	北	ま	た	主	お	お	、	め	う	
ら	大	化	道	総	北	で	旗	規	い	を	米	す	農	要	り	よ	北	て	も	
ぬ	学	し	大	研	見	あ	艦	模	ま	合	に	。また、	産	⌘	ま	び	海	お	皆	
縁	機	て	学	の	の	り	で	こ	す	わ	も	。また、	物	品	す	東	道	り	さ	
が	構	お	機	買	社	ま	あ	そ	。国	せ	事	。また、	輸	目	。米、	北	札	ま	ん、	
あ	の	り	と	収	内	す	り、	小	内	る	業	。また、	出	で	、	地	幌	す、	、	
り	機	ま	農	に	試	。弊	フ	さ	の	と	を	。また、	額	国	麦、	方	市	、	北	
ま	構	す	専	よ	験	社	ァ	い	生	1300	展	。また、	も	内	大豆、	に	に	海	道	
し	長	と	の	飛	場	の	丨	も	産	万	開	。また、	国	シ	、	お	本	道	農	
て	の	こ	出	躍	か	研	ス	の	抛	ha	し、	。また、	内	ェ	い	い	社	業	業	
な	藤	ろ	身	的	ら	究	ト	、	点	の	、	。また、	ト	ア	て	て	を	サ	ー	
あ	村	で	者	に	始	開	・	研	は、	農	国	。また、	ッ	ト	農	業	構	し	ビ	
。ま	と	私	に	成	まり、	発	プ	究	弊	地	内	。また、	プ	ッ	業	生	え、	ま	ス	
あ、	い	、こ	よ	長	、そ	は、	ラ	開	社	で	で	。また、	となっ	を	も	産	主	す。	で	
	男		り	し、			イ	発		耕	万	。また、		保	ろ	を	に			

[illegible]

O